

領 収 書

横 田 誠 様

¥ 1,000 -

ただし、両毛六市議会議長会議員研修会負担金として
上記金額を領収いたしました。

令和2年2月3日

両毛六市議会議長会会長

佐野市議会議長 春 山 敏 明



領 収 証

横田誠 様 2020年2月8日

★ ￥15,000

但 2/8 14:00～「介護保険制度の財源と給付のあり方と地域包括ケアシステム」
研修会受講代として

上記正に領収いたしました

一般社団法人地方議員研究会
〒532-0004
大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639
TEL 06 (7878) 6297



領 収 証

横田誠 様 2020年2月10日

★ ￥30,000

但 2/10 14:00～「10年目までの議員向け特別セミナー2」
2/11 10:00～「医学博士が教える認知症対策特別講座」
研修会受講代として

上記正に領収いたしました

一般社団法人地方議員研究会
〒532-0004
大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639
TEL 06 (7878) 6297



研修 横田 誠 議員

研修：地方議員研究会「データで読み解く人口減少対策in東京」

介護保険制度の財源と給付のあり方と地域包括ケアシステム

日時：令和2年2月8日(土)

場所：TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター 東京都中央区八重洲1-2-16 TGビル

区間	交通手段		鉄道賃		特急急行	飛行機	その他	計
			キロ	金額				
佐野～日本橋	鉄道	往復	179.4	2,220	2,100			4,320
								0
								0
								0
								0
								0
								0
								0
								0
								0
								0
								0
計				2,220	2,100	0	0	4,320

宿泊料@16,500×0泊	0 円
交通費	4,320 円
(うち航空運賃)	0 円)
計	4,320 円

上記の金額は、佐野市職員等の旅費に関する条例及び佐野市職員等の旅費支給規則により算出した金額である。

議事課庶務係長 恩田 俊彦 

※金額や発行元などが、枠内に収まるよう、また重ならないように添付してください。

令和2年2月3日
於：ホテル マリアージュ仙水

両毛六市議会議長会 議員研修会

両毛六市議会議長会

両毛六市議会議長会議員研修会 次第

日 時：令和2年2月3日（月）

午前10時30分～

場 所：ホテル マリアージュ仙水

1階 耀

1 開 会

2 会長挨拶

3 来賓祝辞

4 講師紹介

5 講 演

演 題：議会基本条例の活かし方

講 師：元衆議院法制局参事

よしだ としひろ
吉 田 利 宏 氏

6 謝 辞

7 閉 会

データで読み解く
人口減少対策
in東京

2月7日(金)

2月8日(土)

若年層を取り巻く
雇用環境と
結婚支援政策の
問題点と課題

10:00
～
12:30

- ▶ 若年層の雇用状況の変遷
- ▶ 雇用と結婚ならびに出産との関係
- ▶ 行政規模の応じた結婚支援政策の現状

人口減少社会における
出産と子ども・
子育て支援政策の
問題点と課題

14:00
～
16:30

- ▶ 人口構造の変化と子ども・
子育て支援政策との変遷
- ▶ 乳幼児医療費助成などの
行政サービスの地域格差
- ▶ 待機児童問題における認可・
認可外保育所に対する行政支援

医療保険制度の財源と
給付から検証する
地域・世代・保険者間格差

10:00
～
12:30

- ▶ 海外と比較した
日本の医療保険制度の特徴
- ▶ 我が国の医療保険制度の財源と
給付の構造
- ▶ 医療資源、医療給付、保険料における格差

介護保険制度の財源と
給付のあり方と
地域包括ケアシステム

14:00
～
16:30

- ▶ 介護保険の保険料設定と
公費負担からみる財源構造
- ▶ 介護サービスの種類と変遷からみる
給付構造
- ▶ 地域包括ケアシステムの仕組み



あだち よしみ

足立 泰美

甲南大学経済学部 准教授 博士(医学) 博士(国際公共政策)

2010年大阪大学大学院国際公共政策研究科修士課程修了、2014年大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学博士課程修了。「今後の神戸市の人口動態に関する有識者会議」委員、「今後神戸市の子育て施策に関する有識者会議」委員、「神戸市国民健康保険運営協議会専門部会」委員、「大津市行政改革推進」委員、「吹田市総合計画審議会」委員、「豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」副会長、「地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会」副委員長、「吹田市国民健康保険運営協議会」公益代表委員、「全国保険協会兵庫支部健康づくり推進協議会」委員など

著書

『保健・医療・介護における財源と給付の経済学』(大阪大学出版社、2015)

『税と社会保障負担の経済分析』(日本経済評論社、2015)

↑ FAX 06-7878-6308 ↑

お申込みは  FAX または  メールにて

お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。
「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。

 メール申込み方法

mail@chihogiken.jp

 FAX申込み書

申込書に明記の上、FAXで06-7878-6308宛にお送りください。
参加される講座にチェックボックスへ チェックください。

in 東京

2月7日
(金曜日)

10:00~12:30 若年層を取り巻く雇用環境と結婚支援政策の問題点と課題
14:00~16:30 人口減少社会における出産と子ども・子育て支援政策の問題点と課題

2月8日
(土曜日)

10:00~12:30 医療保険制度の財源と給付から検証する地域・世代・保険者間格差
14:00~16:30 介護保険制度の財源と給付のあり方と地域包括ケアシステム

お名前	(フリガナ) ヨコタ マコト 横田 誠	貴議会名	佐野市議会 (2期目)
電話番号	(0283) 62-1086	FAX番号	(0283) 62-1075
E-mail	makoty@gmail.com		
領収証宛名	ご本人様名・その他()		
当日不参加の場合はチェックください	<input type="checkbox"/> 当日不参加(資料、USB音声データ、領収証 郵送希望) 音声データの無断転載等はないことに同意して申込みます		

開催場所

TKP東京駅日本橋
カンファレンスセンター

[4講座同場所] 〒103-0028 東京都中央区八重洲1-2-16 TGビル

受講料

1講座 15,000円(税込)

受講料は「受講確認書」到着後に
事前にお振込みをお願いします。

※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

お問合せ・事務局

地方議員研究会

TEL 06-7878-6297

FAX 06-7878-6308

メール mail@chihogiken.jp

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639



2020年1月より、
東京開催場所が
変更になりました!

東京メトロ東西線 日本橋(東京都)駅 A1出口より..... 徒歩1分
都営浅草線 日本橋(東京都)駅 A1出口より..... 徒歩1分
東京メトロ銀座線 日本橋(東京都)駅 A1出口より..... 徒歩1分
JR京浜東北線 東京駅 日本橋口より..... 徒歩4分
JR京葉線 東京駅 日本橋口より..... 徒歩4分
JR快速エアポート 成田 東京駅 日本橋口より..... 徒歩4分
JR快速アクティエ 東京駅 日本橋口より..... 徒歩4分

※当社類似名称を名乗る企業、団体から案内チラシが届くとの相談が寄せられておりますが、当社とは全く関係ございません。
テーマ、チラシレイアウト等も同じ悪質な団体もございますので、お間違いのないようにくれぐれもご注意ください。

先輩議員とは違う視点

議員20年の経験から語る基礎講座

in博多

1 / 27

月曜日

10:00~12:30

10年目までの議員向け
特別セミナー1

- ・初当選議員が失敗するポイント
- ・知識がない議員の発言は誰も聞かない
- ・議会のルールに翻弄される
- ・質問する際におさえるポイント
- ・大学教授や、先輩議員に質問の仕方を訊くと必ず失敗するわけ

14:00~16:30

10年目までの議員向け
特別セミナー2

- ・20年の経験から見る、議員と職員の付き合い方
- ・議員と議会の権限の再確認
- ・質問のための情報収集4つのノウハウ
- ・何故、あなたの質問に執行部は答えないか
- ・2000人以上にセミナーで伝授した、役所の答弁への切り返し方

in東京

2 / 10

月曜日

10:00~12:30

医学博士が教える
認知症対策特別講座

- ・認知症と脳についての基礎知識
- ・厚生労働省資料から介護保険制度を読み解く
- ・介護費用と保険料の推移
- ・認知症施策推進総合戦略のおさらい
- ・認知症予防と議会質問のポイント

14:00~16:30

我が国が直面する
学校統廃合特別講座

- ・文部科学省のスタンスを再確認
- ・少子化に対応した活力ある学校づくり
- ・学校適正規模、適正配置の考え方
- ・地元の学校が無くなる!! その時の議員としての関わり方
- ・廃校の官民連携の事例紹介

in東京

2 / 11

火曜日

in博多

1 / 28

火曜日

講師ご紹介

みやもと しょういち

宮本 正一

1967年生まれ ポストン・ウェントワース工科大学を卒業後、神戸大学経営大学院でMBA(経営学修士)、大阪市立大学大学院医学研究科で医学博士号(公衆衛生学)を取得。現在、日本公共経営研究所代表。

政治略歴

平成7年に27歳で市議員に無所属で初当選し、その後5期20年の議員在任中、第54代寝屋川市議会議長及び大阪府知事選挙をはじめ11の選挙対策本部で事務局長を務める。

主な著書

「サービス産業経営論(第7章自治体の経営)」他

↑ FAX 06-7878-6308 ↑

3/3(月) 13:30 (2枚込)
FAX送信OK 1/10

お申込みは FAX または メールにて

お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。



メール申込み方法

mail@chihogiken.jp



FAX申込み書

申込書に明記の上、FAXで06-7878-6308宛にお送りください。
参加される講座にチェックボックスへ チェックください。

in 博多

1月27日
(月曜日)

10:00~12:30 10年目までの議員向け
特別セミナー1
14:00~16:30 10年目までの議員向け
特別セミナー2

1月28日
(火曜日)

10:00~12:30 医学博士が教える
認知症対策特別講座
14:00~16:30 我が国が直面する
学校統廃合特別講座

in 東京

2月10日
(月曜日)

10:00~12:30 10年目までの議員向け
特別セミナー1
14:00~16:30 10年目までの議員向け
特別セミナー2

2月11日
(火曜日)

10:00~12:30 医学博士が教える
認知症対策特別講座
14:00~16:30 我が国が直面する
学校統廃合特別講座

お名前	(フリガナ) ヨコタ マコト 横田 誠	貴議会名	佐野市議会 (2期目)
電話番号	(0283) 62-1086	FAX番号	(0283) 62-1075
E-mail	makoty@gmail.com		
領収証宛名	ご本人様名・その他()		
当日不参加の場合はチェックください	<input type="checkbox"/> 当日不参加(資料、USB音声データ、領収証 郵送希望) 音声データの無断転載等はないことに同意して申込みます		

開催場所
in 博多

リファレンス 駅東ビル

4講座 | 〒812-0013 福岡市
同場所 | 博多区博多駅東1丁目16-14



JR博多駅 筑紫口より 徒歩4分 博多スターレーン方面へ向かい、お弁当「HOTTO MOTTO」角を右折。左側ガラス貼りのビル。(1階コインパーキング)

開催場所
in 東京

TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター

4講座 | 〒103-0028 東京都中央区
同場所 | 八重洲1-2-16 TGビル



東京メトロ東西線 日本橋(東京都)駅 A1より 徒歩1分 都営浅草線 日本橋(東京都)駅 A1より 徒歩1分
東京メトロ銀座線 日本橋(東京都)駅 A1より 徒歩1分 JR京浜東北線 東京駅 日本橋口より 徒歩4分
JR京葉線 東京駅 日本橋口より 徒歩4分 JR快速エアポート 成田 東京駅 日本橋口より 徒歩4分
JR快速アクティヴ 東京駅 日本橋口より 徒歩4分

2020年1月より、
東京開催場所が
変更になりました!

受講料

1講座 15,000円(税込)

受講料は「受講確認書」到着後に
事前にお振込みをお願いします。

※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

お問合せ
事務局

地方議員研究会

TEL 06-7878-6297

FAX 06-7878-6308

メール mail@chihogiken.jp

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

※当社類似名称を名乗る企業、団体から案内チラシが届くとその相談が寄せられておりますが、当社とは全く関係ございません。
テーマ、チラシレイアウト等も同じ悪質な団体もございますので、お間違いのないようくれぐれもご注意ください。

地方議員研究会 参加報告書

報告者 横田 誠

<研修目的>

これまで議会の一般質問で、介護保険や認知症対策について質問を取り上げたことがありませんでした。介護保険制度の改定や認知症施策推進大綱が取りまとめられたことによって、その実態がどう変わってくるのか、どう対応すべきなのか、将来を見据えてより良い生活環境を整える必要があると考えます。高齢者が急増する背景の中、住み慣れた地域で人間としての尊厳が守られ生きていける社会の構築に議員としてどうアプローチすべきか知識の習得をするために研修を受講しました。

<p>実施場所：TKP 東京日本橋カンファレンスセンター</p>	<p>実施日時：令和元年2月11日</p>
<p>■講演テーマ 医学博士が教える認知症対策特別講座</p>	<p>■講師 医学博士 宮本 正一 氏</p>
<p>■研修概要：認知症と脳についての基礎知識、厚生労働省資料から介護保険制度を読み解く、介護費用と保険料の推移、認知症施策推進総合戦略のおさらい、認知症予防と議会質問のポイントなどについて。</p> <p>■所見</p> <p>まずは医学的に脳の仕組みから、認知症が発症するとどうなるかについて講義を受けました。認知症についての正確な認識として、認知症は病名ではなく、症状であることを理解することから始まり、その分類が4つあり、それぞれの対応と患者への接し方など、人間としての尊厳をいかに守ることが重要かについても解説をいただきました。</p> <p>認知症の少々や介護的な対応に絡めて、介護保険について厚生労働省の資料を読み解きながら説明いただいたことで、非常に分かりやすいものでした。議員としてはエビデンスに基づいた議論を議会ですべきとの指導もあり、いかにして厚生労働省の資料を手元に入手するかで議論が深化が決まることや、厚生労働省のHPからどのように資料を検索するのか詳細わたり懇切丁寧な指導もいただいたことは、今回の認知症のデータに限らず各省庁の資料へのアクセスする知識も習得できたと思います。</p> <p>また、法が改正によって新オレンジプランが成立したことにより、議会における一般質問での取り上げるべき事項なども含めて、認知症の容態に応じた適時適切な医療・介護等の提供を本市でもすべきなのか、改めて学ぶことができましたので、認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりを推進する立場で今後一般質問の壇上に立てるものと考えています。介護保険、認知症対策、地域包括ケアシステムなど、今後の視点をもって本市にとって何が最善なのかを考える良い機会となりました。</p>	

地方議員研究会 参加報告書

報告者 横田 誠

<研修目的>

議会の一般質問や予算決算審査、常任委員会での質疑などをおし、自身が背景に抱える課題の解決に向けて提言した内容が形になって、より良い成果へと導くことが難しい中で、定例会のたびに忸怩たる思いがありましたので、少しでも質問や質疑の質を高め、その内容がより具現化されるよう、スキルアップの機会を得るため研修を受講しました。

実施場所：TKP 東京日本橋カンファレンスセンター	実施日時：令和元年2月10日
■講演テーマ 10年目までの議員向け 特別セミナー2	■講師 医学博士 宮本 正一 氏
■研修概要：議員と職員の付き合い方、議員と議会の権限の再確認、質問のための情報収集4つのノウハウなど、議会活動をしっかりと成果に結びつける方策について。	
■所見 まずは地方議員の権限（動議提出権、発言権、表決権）についての内容から、議員の権能として何が重要なのかの確認から始まり、自身が持つ市政の課題や市民サービスの向上に資する提言をいかに具現化していく準備とプロセスについて分かりやすい講義でした。 講義の中で、一般質問における提言を少しでも形にする下地づくりとしての情報収集について、これまで中々できなかった内容のレクチャーがあり、非常に有効なものでした。 そして、今後一般質問での、当局の答弁や過去の質問で取り上げた事項について、どういった過程を経て成果へと結びつけられるのか、行政の目線に立脚した思考を持つことの重要性や意義と同時に、実際の質問でのやり取りについて、具体的な事例などを交えながらOJTに似た講義をいただきました。 これまでの一般質問における執行部とのやり取りで、足りなかった部分についても気づかせていただくことができ、即実行できそうな内容であったことで収穫の多い研修となりました。	

<研修目的>

現在第7期の事業運営期間にある介護保険ですが、介護にかかる費用が増え続ける中での被保険者の負担＝介護保険財源の不足の問題、深刻な人手不足＝介護現場における労働力の不足の問題等が指摘されています。そのような中2021年の介護保険料の改定をひかえ、佐野市の財政状況や介護世帯の介護と仕事の両立や高齢者の尊厳の確保など、介護予防と在宅介護に関わるサービスのより良い在り方について議会等で一般質問をしたり、議案質疑及び予算・決算審査等に活用するため。

<p>実施場所：TKP 東京日本橋カンファレンスセンター</p>	<p>実施日時：令和元年2月8日</p>
<p>■講演テーマ 介護保険制度の財源と給付のあり方と 地域包括ケアシステム</p>	<p>■講師 甲南大学経済学部 准教授 足立 泰美 氏</p>
<p>■研修概要：2021年の介護保険制度の改定に向けて、介護保険総額と介護保険料をいかに分析（単価、人数、認定率）していくのかについて。また高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活の包括的に確保される体制の構築について。</p> <p>■所見 介護保険事業の運営するに当たっては、介護保険財源の不足、介護離職という深刻な問題を踏まえつつ75歳以上の高齢者の急増によって医療・介護需要が急増していく中で、保険料の単価、被保険者数、要介護認定率など、行政サイドの視点から、どこに課題があるのかをしっかりと考察することが重要であることが理解できました。</p> <p>また、市民的な側面として市民税非課税世帯割合や高齢者の単身世帯の高さ、そして市民の健康意識の状況などを把握することも重要であるとのことでした。</p> <p>そして、サービスを供給する側の事業者についても、その事業者数や利用者の住居からどれだけのアクセスしやすい環境であるか否か、介護予防の取り組みの状況なども把握することが、介護保険制度を全体的に理解する上で重要である認識を深めることができました。</p>	